

平成 31 年度 新採用職員アンケート

〔回答者〕

平成 31 年度 I 種新採用職員

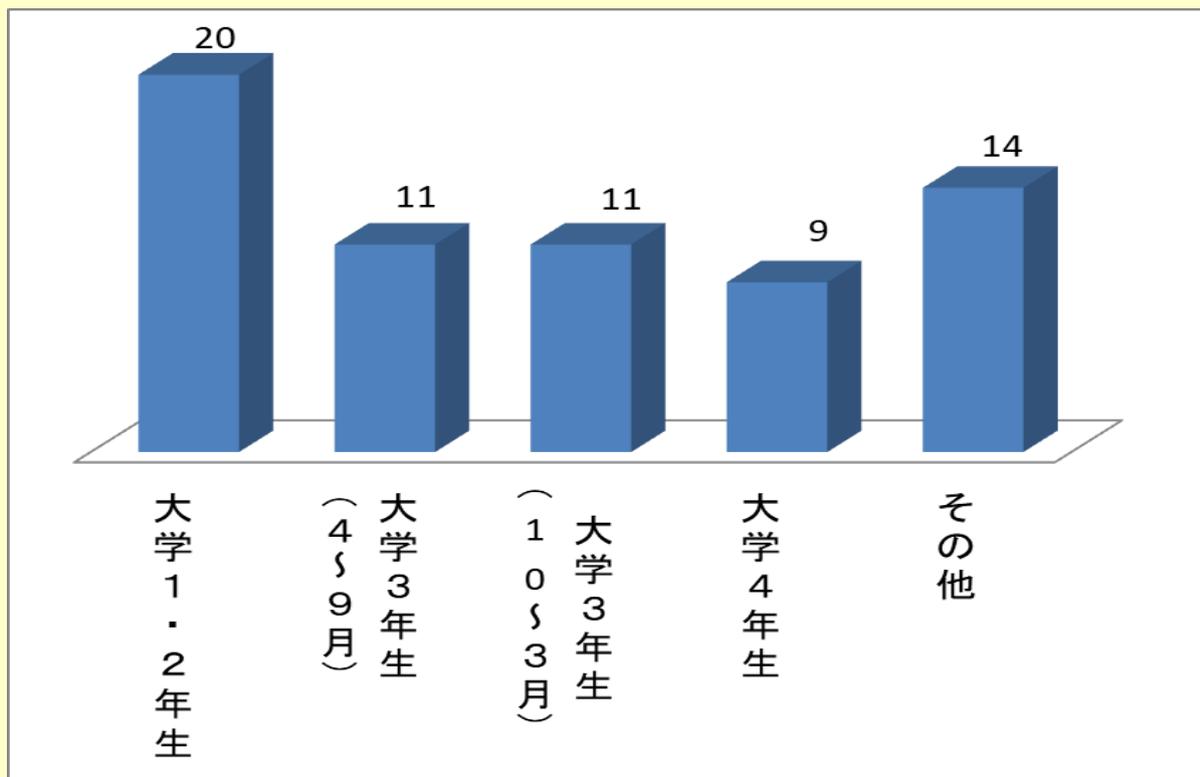
〔職種〕

一般行政（A・B）、社会福祉、心理、農学、畜産、林学、総合土木、建築、機械、電気、総合化学

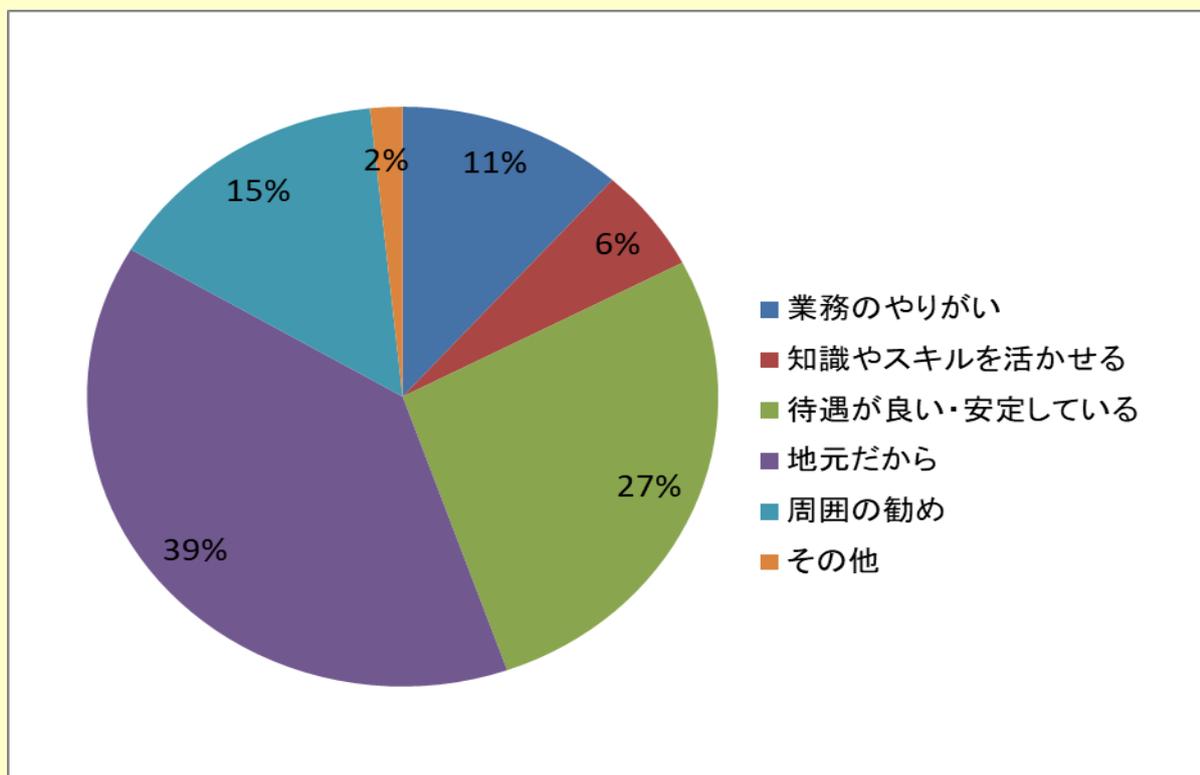
〔質問項目〕 ※各項目をクリックすると、対象ページに移動します。

- ① 岩手県職員を志望し始めた時期
- ② 岩手県職員を志望したきっかけ
- ③ 最終的に岩手県職員を選択した理由
- ④ 岩手県や採用試験についての情報源
- ⑤ 民間企業と比較した岩手県職員（公務員）の魅力
- ⑥ 他の公務員と比較した岩手県職員の魅力
- ⑦ 入庁前後のギャップ

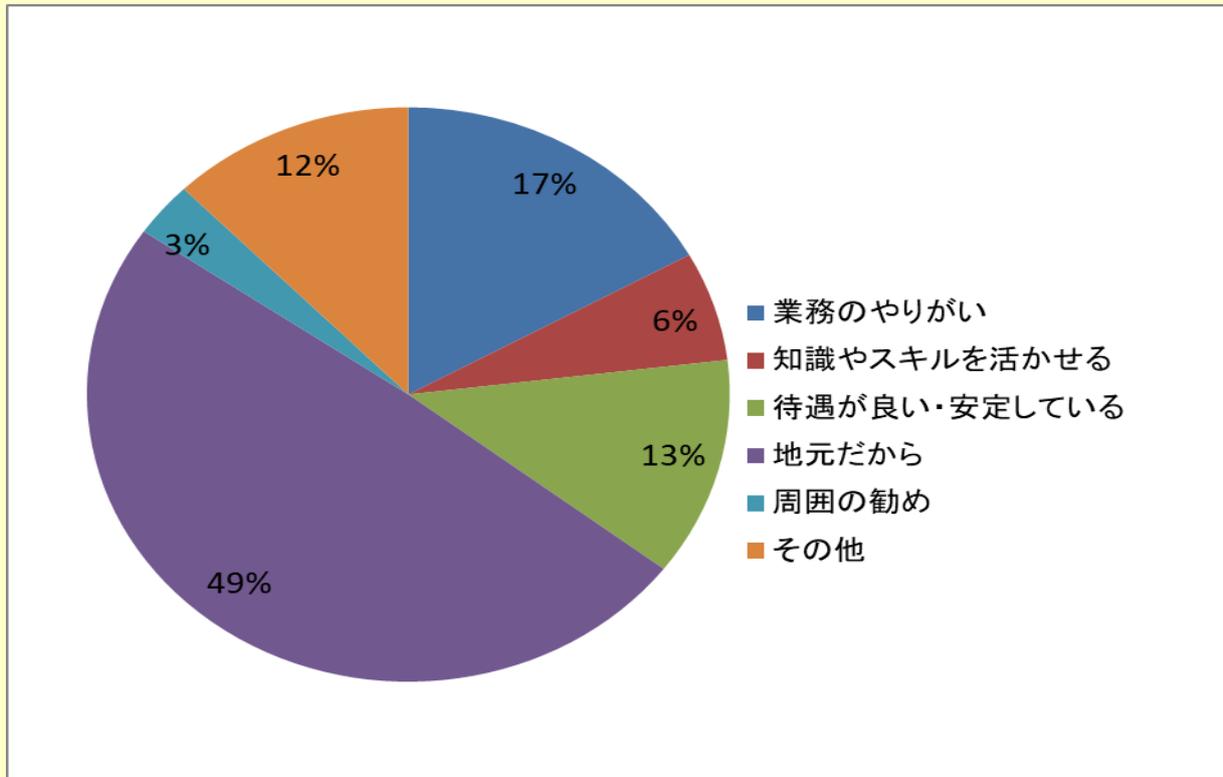
① 岩手県職員を志望し始めた時期



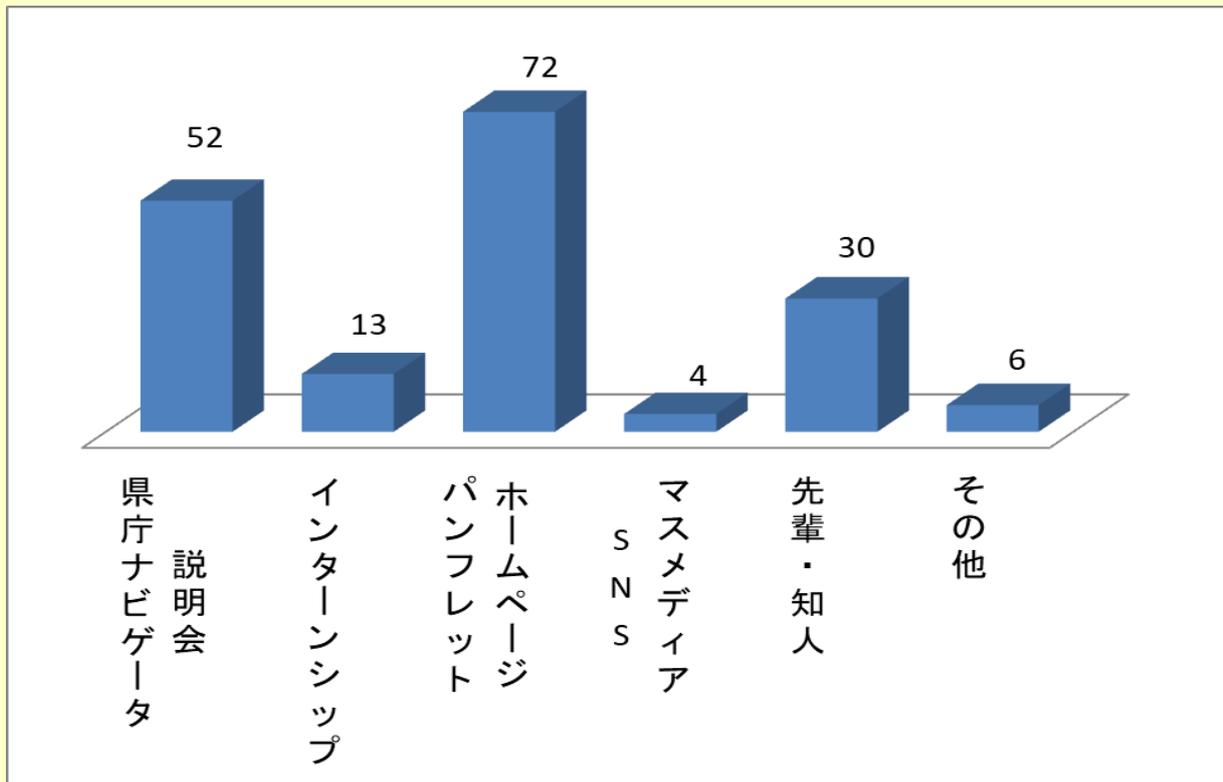
② 岩手県職員を志望したきっかけ



③ 最終的に岩手県職員を選択した理由



④ 岩手県や採用試験についての情報源



⑤ 民間企業と比較した岩手県職員（公務員）の魅力

〔業務内容〕

- ◇ 地方行政や地域への貢献ができるところ。
- ◇ 利益を優先するのではなく、県民の生活全般を第一に考えて仕事をするところ。
- ◇ 幅広い業務に携わることが出来ること。

〔勤務条件・休暇制度・福利厚生〕

- ◇ 年次休暇や育児休暇等が取得しやすいシステムになっていると感じる。
- ◇ 完全週休二日制のため、仕事とプライベートの両立がしやすいこと。

〔職場環境・人間関係〕

- ◇ 気遣いのできる職員が多く、働きやすい職場環境だと思う。
- ◇ 仕事とプライベートのメリハリがある。

⑥ 他の公務員と比較した岩手県職員の魅力

〔業務内容〕

- ◇ 地元で仕事ができることに加え、多種多様な業務に携わることができる点。
- ◇ 国家公務員は1つの分野（農業、経済など）の中で色々な業務をこなしていく職種で（狭く深くのイメージ）、市町村職員は狭い地域内（面積的に小さい）で業務をしていくイメージがある。県職員は様々な分野の業務に取り組み、それを他分野に生かすことができる職業（広く浅くのイメージ）であり、魅力的に感じた。
- ◇ 県民の方々との関わりは無論、国や市町村の職員との関わり、同じ都道府県職員との関わりもあるため、非常に幅広い方々とのつながりから日々多くのことを学べる点。
- ◇ 岩手のために働けることが魅力だと思う。1度県外に出て、生まれ育った岩手のために働きたいと思った。その志を果たせるのが県職員であると思う。

〔仕事のフィールド〕

- ◇ 広域振興局への勤務も含めると、地域の特色、違いを強く感じながら仕事をするようになると思う。幅広い業務に携わる公務員の中でも特に業務の幅広さを感じる事が出来るのではないかと感じている。
- ◇ 県内の様々な地区の魅力を感じることができる。

⑦ 入庁前後のギャップ

〔業務内容〕

- ◇ 事務方の職務範囲が想像以上に広く、多様な経験を積めること。
- ◇ 専門分野に関して、知識や技術に優れた先輩方が多いこと。
- ◇ 自分の意見を言う場が想像より多く、新人でも自由度が高いこと。
- ◇ 業務によっては高度な専門的知識を要すること。

〔勤務条件・休暇制度・福利厚生〕

- ◇ 年次休暇が取りやすく、ワークライフバランスがしっかりとれる職場だと感じた。

〔職場環境・人間関係〕

- ◇ 基本的に OJT ではあるが、課内に限らず様々な方からご指導をいただけていること。
- ◇ 想像していた以上に女性が多く、相談などしやすい環境であった。女性であっても長年勤めることができそうだと感じた。
- ◇ 職場の雰囲気がよく、休暇も取得しやすいため、想像していたよりも働きやすい環境だった。

〔研修・人材育成〕

- ◇ 新採用を対象とした研修や、指導担当によるサポート等がとても厚い。
- ◇ 研修や講話も多く業務に関するサポート体制が厚い。